

第29回

FMたんと放送番組審議会議事録

○開催日

令和3年7月30日（金）

○議 題

- ① 『「Monthly 北高」～人は自分が思う以上に、輝けると思う。～』（7/22(木)放送分）
- ② 『さんせつと TANTO 金曜日』（7/23(金)放送分）

○その他

株式会社有明ねっこむ

1. 開催年月日

令和3年7月30日（金） 午後16時30分～

2. 開催場所

株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3. 委員の出席

委員総数 6名

出席委員数 5名

副委員長	香山 真理子
委員	城戸 久信
委員	大石 教義
委員	古賀 武
委員	松崎 義和

放送事業者側出席者名

代表取締役専務	納富 和由紀
FMたんと局長	永江 美穂
番組審議会事務局	根間 裕花里

4. 議 題

番組内容について

① 『「Monthly 北高」～人は自分が思う以上に、輝けると思う。～』（7/22(木)放送分）

② 『さんせっと TANTO 金曜日』（7/23(金)放送分）

5. 議事の概要

議事に先立ち、放送に関する報告として、前回の放送番組審議会から本日まで、訂正・取り消しの放送、放送内容に対する苦情・意見が無かった事を報告した。

また今回は、委員長不在の為、株式会社有明ねっとこむ放送番組審議会規定第3条第5項の規定に基づき、議事の進行を、委員長に代わり副委員長が行った。

【番組の内容について】

次の2つの放送について、あらかじめ放送事業者が説明を行い、その後音源を聴き、審議を行った。

① 『「Monthly 北高」～人は自分が思う以上に、輝けると思う。～』（7/22(木)放送分）

担当パーソナリティ：大牟田北高等学校生徒

■委員の意見(概要) / 事務局の回答

- ・ 通常あまり交流する事がない全日制と単位制の生徒が一緒になって番組の制作を行っていて良いと思う。
- ・ 自分たちが話すことをしっかり下準備をして、話している印象だった。
- ・ 前半声が少し遠い気がした。

<事務局>

コロナ禍ということもありスタジオを閉鎖していたため、今回の放送分は学校でボイスレコーダーを使い収録している。声が小さい部分に関しては編集で調節を行ってはいるが、カバーできていないところもある。今後は収録環境や話し方など局からもアドバイスを行いながら改善し、より良い番組にしていきたい。

- ・ 編集には生徒も立ち会っているのですか。

<事務局>

学校からの指示をもとに、局のスタッフが編集している。

- ・ 会話のテンポが早く感じたので、もう少しゆっくり話した方が良いと思う。
- ・ アプリで放送エリア外に住んでいる卒業生の方なども聴けるので、良い取り組みだと思う。

② 『さんせつと TANTO 金曜日』(7/23(金)放送)

担当パーソナリティ：アッキー

■委員の意見(概要) / 事務局の回答

- ・ パーソナリティが楽しそうに放送している様子が、ラジオを聴いていても伝わってきてとても良いと思う。
- ・ 自分の番組であるという意識をしっかり持って放送されている印象だった。
- ・ 幅広い年代の曲を取り上げていて良いと思う。
- ・ パーソナリティの話が軽快で聴きやすい。
- ・ 曲の選曲はどなたがされているのですか。

<事務局>

曲の選曲はパーソナリティが行っている。

- ・ 月曜日から木曜日も時間拡大する予定はありますか。

<事務局>

今のところ拡大の予定はありません。

週末の特別感を出すためにも、あえて金曜日だけとしている。

その他の意見

- ・ 他の番組で、パーソナリティが自身の意見を少し強く表現している場面があり気になった。

<事務局>

放送はスタッフが常に聴いており、放送内での発言やトークなどで気になる部分があった場合は、その都度パーソナリティと話をし、改善を心がけている。今後も引き続き放送内容には気を付けていきたいと思う。

6. 審議機関の答申又は意見の概要講評

自社ホームページに掲載（令和3年8月11日掲載）